



2023年1月28日[土] 13:00~15:00 開場12:30

鈴鹿医療科学大学白子キャンパス6号館6101大講義室

対面形式で入場無料

日本同様、台湾もこれまでは治安がよい国とされ、一般市民は犯罪という現象にあまり関心を寄せてこなかった。しかし、8年前に起こった地下鉄無差別殺人事件以降、犯罪や刑事司法制度に対する関心が一気に高まり、犯罪行為の背後に潜む心理要因がさかんに研究されるようになった。そこで本講演では、まず近年の台湾の犯罪事情を概観し、“白ロース運動”や“死刑廃止に関する論争”など世間を震撼させた事件からの刑事司法改革の流れを分析する。そして、台湾に固有の犯罪事情(高齢犯罪、詐欺、薬物乱用)と刑事司法制度に関する世論の変化(量刑相場、国民裁判官制度)について、実証研究を交えながら報告する。(使用言語：日本語)



お申込みはこちらから

パネリスト 大淵憲一
東北大学名誉教授

<お問い合わせ> 鈴鹿医療科学大学保健衛生学部医療福祉学科 上原俊介 uehara@suzuka-u.ac.jp

戴伸峰氏講演会

テーマ「犯罪と逸脱の心理学…台湾の現状と展望」

鈴鹿医療科学大学保健衛生学部医療福祉学科主催 公開特別講座



戴伸峰 教授
台湾国立中正大学

